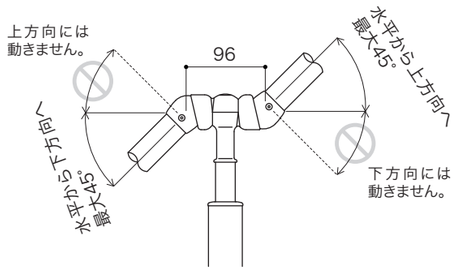
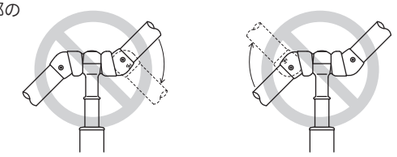
コーナー支柱の取付方法

❹ 次項に示す手順に従ってコーナー支柱と手すり棒を固定後、コーナー支柱中心部の六角穴付きボルトを本締めして、キャップをはめ込み完了です。



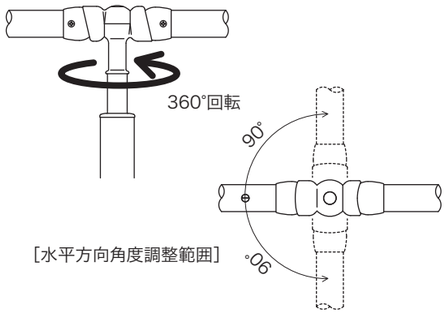
［上下方向角度調整範囲］



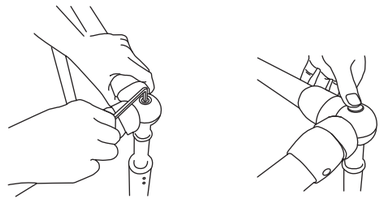
⚠注意

禁止 **商品の構造上、両側の手すり棒を上向き（下向き）にできません。**

支柱を固定した後にボールジョイント部分の向きを変えたい場合は、一旦側面の高さ固定用イモネジを緩め、支柱上部だけを回転させることができます。



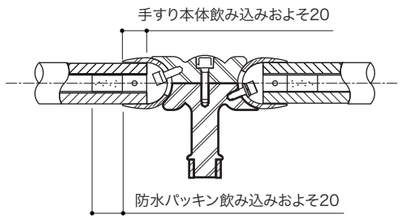
［水平方向角度調整範囲］



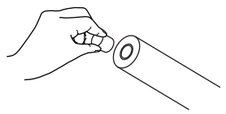
⚠注意

お願い キャップは指で圧入しはめ込んでください。取外しの際は、キャップの隙間に薄い板等を入れ込み取外してください。

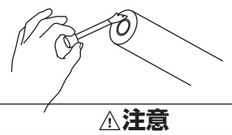
コーナー支柱と手すり棒の固定方法



❶ 手すり棒端部芯材に防水パッキンを挿入してください。(およそ20mm挿入)



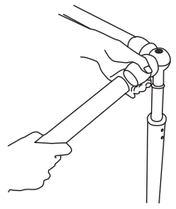
❷ 手すり棒小口部に錆び止め塗料ローバル(※エンドキャップまたはジョイント付属品)を塗布してください。



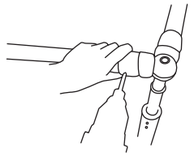
⚠注意

お願い ねじ止めの穴位置は180度回転可能です。ねじ穴が止めやすい位置にくる様にして施工してください。

❸ 手すり棒をコーナー支柱に挿入します。(飲み込みおよそ20mm)



❹ φ3.3の下穴をあけ、タッピングねじで締付けます。



直棒手すりとの固定の場合

固定方法は手すり棒と同様です。防水パッキン、ローバルは不要です。○図のように取付ネジは、リブを避けた位置で固定を行うと施工しやすくなります。

BAUHAUS

FreeR-rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

施工要領書

埋込み式コーナー支柱 (BJ-27ST)

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】
この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

マツ六株式会社
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 http://www.mazroc.co.jp

安全上のご注意

●使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

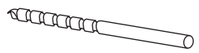
用語および記号の説明

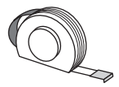
⚠注意	この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。
❗お願い	この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

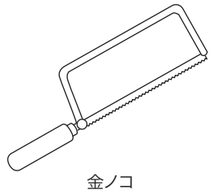
施工に必要な工具

電動ドライバー

電動ドリル


ドリルビット
(φ3.3mm)


コンベックス

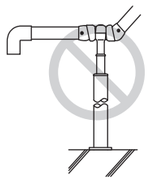

金ノコ

⚠注意

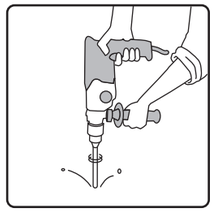
禁止

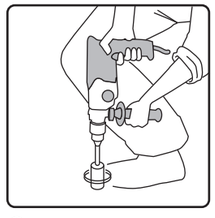
コーナー支柱の端部はエンドキャップ納まりにしないでください。

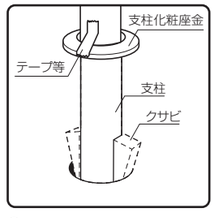
端部エンドは、必ず壁付け及び支柱の納まりにしてください。端部の支えが無いと十分な強度を得られず手すりが曲がったり、ネジのゆるみの原因となります。



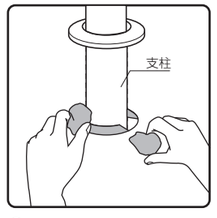
支柱埋め込み方法


❶ 振動ドリルで下穴(φ6mm)を開けます。

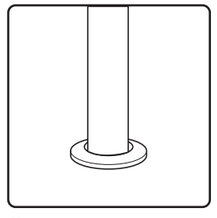

❷ コアドリル(φ60mm)で深さ220mm以上の穴をあけます。



❸ 支柱に支柱化粧座金を通し穴に差し込み、クサビで垂直になるように調整した後、孔にモルタルを流し込みます。



❹ モルタルが仮硬化したらクサビを取り除いてクサビ跡をモルタルで補修します。


❺ 支柱化粧座金をおとして完了です。

支柱埋め込み方法

❗お願い

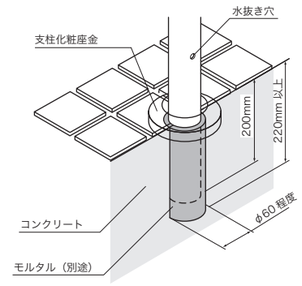
支柱の埋め込み深さは十分な強度を得るために、必ず200mm以上としてください。

タイルにコア抜きする場合は、タイルが割れないように十分注意してください。また、まれにモルタル硬化後に、タイルにヒビが入ることもあります。事前に施主に確認してください。

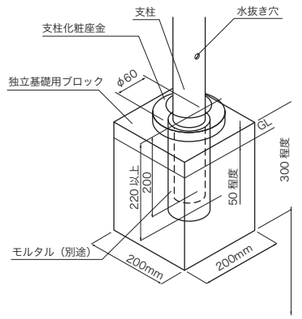
⚠注意

⃠ コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当てるなどして、両手だけで行わないでください。
コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがあります。

コンクリートの場合

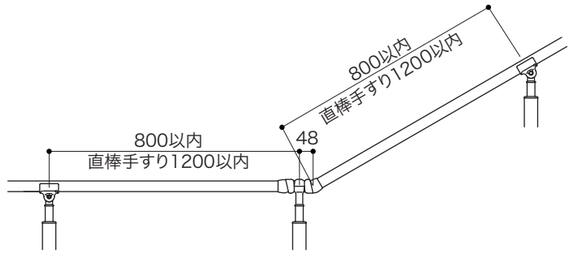


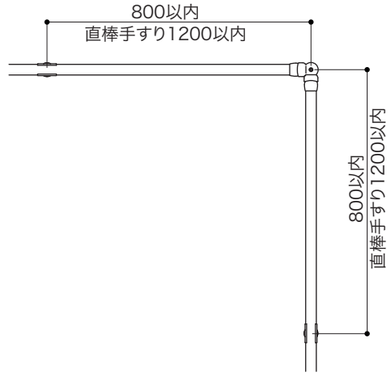
コンクリートの無い場合



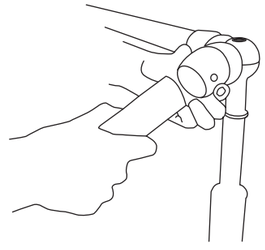
コーナー支柱の取付方法

❶ 別紙取扱説明書の参考取付方法において、手すりのコーナー部をコーナー支柱に置き換えて、下に示す寸法で他の支柱(もしくはその他ブラケット)の割付を行います。

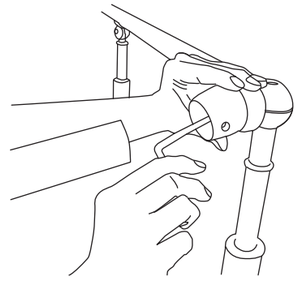




❷ 支柱(もしくは壁付けブラケット)を取付け後、手すり棒を仮置きし、コーナー支柱に手すり棒を挿入することで首振り角度を調整します。



❸ 手すり棒をスライドさせ取外し、六角穴付きボルトを本締めして、首振り角度を固定します。



※勾配のない納まりの時は、上下の首振り調整を水平(0°)に固定し、始めから六角穴付きボルトを本締めしておいてください。

⚠注意

❗お願い コーナー支柱と隣接する支柱(もしくはその他ブラケット)との距離は800mm以内としてください。1スパンの場合は700mm以内としてください。また直棒手すりをご使用の場合は1200mm以内としてください。